

中川一政

2023
前期テーマ展

絵画と題材

え
モチーフ



(上) 中川一政《薔薇》Roses 1982年／(左下)一政コレクション《マジョリカ陶器 色絵人物凶壺》Majolica, Vase 17世紀

中川一政（1893-1991、画家・文化勲章受章者）は絵を描くとき、必ず描く対象である題材を何度も繰り返し見ながら筆を進めました。写生の精密さにこだわらない中川にとって、題材を見ることが、その輪郭をなぞるためだけでないことは明らかです。中川が幾度となく題材を見るのは、描くものと向かい合うことによって揺り動かされる自身の心、つまり感動を表現するためにほかなりません。

本展では、薔薇など花の画や風景の作品を中心に公開すると共に、そこに描かれる壺などの愛用品や、写生地の写真などを併せて紹介します。中川が題材の中の何に心動かされたのか、いかにデフォルメが生まれているか、画と実物・題材を見比べることで、画家の心の動きに触れてみませんか。



I 期：2023. 2. 28（火）－ 5. 28（日）

II 期：2023. 5. 30（火）－ 10. 1（日）

開館時間 9：00～17：00

休館日 月曜日（但し 7/17・9/18（月・祝）開館、7/18・9/19（火）休館）

入館料 大人 200 円 高校生 100 円（20 名以上の団体は半額）
中学生以下及び障がい者手帳をご提示の方とその介護者 1 名は無料

白山市立松任中川一政記念美術館